

まちづくりの目標	2	みんなが安全で快適に暮らせるまち		
政策	1	都市基盤を整備し、安全で安心して暮らせるまちにします		
施策	4	道路が安全で移動しやすいまちにします	担当部(統括部)	土木下水道部

【実現ステップ】

平成32年度に実現している姿						
交通アクセスが良くなり、移動の利便性が向上しています。						
	平成23年度	平成24年度	第3期実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
目標	市内交通アクセスの問題点が明らかになっている	交通アクセス上の問題点の解消方策が明らかになっている	交通アクセス上の問題点の解消方策が明らかになっている	解消方策実施に向けた障害と対応方策が明らかになっている	交通アクセスの確保が計画されている	交通アクセス改善による移動の利便性向上のため整備が進んでいる
実績	目標の通りの姿を実現できた					
誰もが安心して快適に歩道を通行できるようになっています。						
	平成23年度	平成24年度	第3期実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
目標	既存道路の安全性が高まっている	既存道路の安全性が高まっている	既存道路の安全性が高まっている	既存道路の安全性が高まっている	既存道路の安全性が高まっている	市民が安心して快適に道路を通行できるようになっている
実績	目標の通りの姿を実現できた					
目標	歩車分離できていない未整備道路について快適性確保の方策が明らかになっている	歩車分離でバリアフリー化された歩道整備が進んでいる	歩車分離でバリアフリー化された歩道整備が進んでいる	歩車分離でバリアフリー化された歩道整備が進んでいる	歩車分離でバリアフリー化された歩道整備が進んでいる	歩車分離でバリアフリー化された歩道整備が着実に進んでいる
実績	目標の通りの姿を実現できた					
目標	交通バリアフリー道路特定事業計画に基づき、歩道のバリアフリー化が進められている	歩道のバリアフリー化が少しずつ進んでいる	歩道のバリアフリー化が少しずつ進んでいる	歩道のバリアフリー化が少しずつ進んでいる	歩道のバリアフリー化がさらに進んでいる	誰もが安心して快適に歩道を通行できるようになっている
実績	目標の通りの姿を実現できた					

実現している姿を確認する指標											
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
都市計画道路の整備率	目標	—	—	—	—	62.7%	62.7%	62.7%	63.8%	68.1%	68.1%
	実績	65.5%	65.5%	62.7%	62.7%	62.7%					
歩道段差切り下げ解消箇所の改良率	目標	—	—	—	—	74.0%	75.0%	75.2%	75.5%	76.0%	78.0%
	実績	72.0%	72.7%	73.2%	73.8%	74.8%					
交通バリアフリー道路特定事業計画に基づく歩道整備の進捗率	目標	—	—	—	—	50.0%	57.0%	57.0%	57.0%	57.0%	57.0%
	実績	43.0%	43.0%	43.0%	47.0%	53.0%					

【施策の展開】◎は重点的な取組み

◎鉄道による交通渋滞の解消						平成25年度事業費計
						16,000千円
阪急京都線連続立体交差により踏切の交通渋滞を解消し、市域の交通アクセスの改善をめざします。						
平成25年度事業	阪急京都線連続立体交差事業16,000千円(都市計画課)					
	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	事業調査結果を踏まえ、事業化に向けた関係機関との協議、調整	連立事業基本調査結果を踏まえ、事業化に向けた関係機関との協議、調整	着工準備期間に入り、実施測量・比較設計・詳細設計等の実施、関係機関との協議	着工準備期間に入り、連立事業、関連側道等都市計画素案の検討、関係機関との協議	着工準備期間に入り、連立事業、関連側道等の都市計画案の作成、事業認可取得に向けた関係機関との協議	事業認可の取得後、用地買収の実施
取組実績	連続立体交差事業の事業化に向けて、国や大阪府など関係機関との協議、調整を実施し、国や大阪府の連続立体交差事業に対する動向を踏まえて、市としての対応を図った。					
成果	大阪府の今後10年間の都市整備の方針が示される「都市整備中期計画」に当該事業が位置づけられた。					
次年度課題	今後、連続立体交差事業の事業化に向けて、引き続き国や大阪府など関係機関との協議、調整を実施していくことが必要である。					
計画			ワークショップによるまちづくり市民協働の実施		地元説明会の実施	
取組実績						
成果						
次年度課題						

○道路ネットワークの再構築と整備						平成25年度事業費計
						16,000千円
阪急京都線連続立体交差と併せて整備する側道や関連街路について、交通ネットワークを再構築し、地域の利便性や安全・安心の向上など、まちの発展につなげます。						
平成25年度事業	千里丘三島線道路改良事業0円(道路交通課) 阪急京都線連続立体交差事業16,000千円(都市計画課)					
	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	JR千里丘駅と阪急摂津市駅を繋ぐ歩道整備を実施するため用地取得	千里丘駅南交差点から千里丘東2丁目交差点までの西側歩道の整備	千里丘駅南交差点から千里丘東2丁目交差点までの東側歩道を整備するため、用地取得に向けての課題検討	千里丘駅南交差点から千里丘東2丁目交差点までの東側歩道を整備するため、用地取得に向けての課題検討	千里丘駅南交差点から千里丘東2丁目交差点までの東側歩道を整備するため、用地取得の課題検討結果について評価	千里丘駅南交差点から千里丘東2丁目交差点までの両側歩道の整備完了
取組実績	歩道整備を実施するため、用地取得対象所有者と用地交渉に努めた。					
成果	用地所有者と交渉を行った結果、歩道整備用地を2件取得した。					
次年度課題	継続して整備の推進に努める。					

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	交通ネットワーク、周辺まちづくりの問題点の抽出	交通ネットワーク、周辺まちづくりの問題点の解消方策の整理、検討	交通ネットワーク、周辺まちづくり計画の作成、関係機関と協議	交通ネットワーク、周辺まちづくり計画の実施に向けた検証、関係機関と協議	交通ネットワーク、周辺まちづくり計画の実施に向けて、関係機関と協議	事業認可の取得後、用地買収の実施
取組実績	連続立体交差事業の事業化に向けて、国や大阪府など関係機関との協議、調整を実施し、国や大阪府の連続立体交差事業に対する動向を踏まえて、市としての対応を図った。					
成果	大阪府の今後10年間の都市整備の方針が示される「都市整備中期計画」に当該事業が位置づけられた。					
次年度課題	今後、大阪府内部の事業評価委員会による承認や、国(国土交通省所管)の社会資本総合整備計画への新規事業としての承認が得られるか、国、大阪府など関係機関と協議、調整しながら進めていくこと、並びに、引き続き、関連まちづくりや交通ネットワークの課題等の検証が必要である。					
計画			ワークショップによるまちづくり市民協働の実施		地元説明会の実施	
取組実績						
成果						
次年度課題						

◎快適な生活道路の整備						平成25年度事業費計
						937,377千円
計画的に生活道路を整備するとともに、バリアフリー化に向けて改良を実施します。また、徒歩や自転車で移動しやすい道路ネットワークの整備に取り組みます。						
平成25年度事業	市内側溝改修事業10,000千円・転落防止安全柵設置事業4,000千円・道路補修事業316,000千円・★街路灯修繕事業6,000千円・★自転車歩行者道路修繕事業10,377千円(道路管理課) 交通バリアフリー整備事業5,000千円・正雀南千里丘線外2路線(阪急正雀駅前)道路改良事業551,000千円(道路交通課) 新在家鳥飼上線道路整備事業35,000千円(都市計画課)					
	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	歩車道の分離、視覚障害者用誘導ブロックの整備、段差の解消などの実施	歩車道の分離、視覚障害者用誘導ブロックの整備、段差の解消などの実施	歩車道の分離、視覚障害者用誘導ブロックの整備、段差の解消などの実施	歩車道の分離、視覚障害者用誘導ブロックの整備、段差の解消などの実施	歩車道の分離、視覚障害者用誘導ブロックの整備、段差の解消などの実施	歩車道の分離、視覚障害者用誘導ブロックの整備、段差の解消などの実施
取組実績	市内交差点部の歩道において、視覚障害者用誘導ブロックの整備、段差の解消などに努めた。					
成果	歩行者等の通行の安心・安全を図るため、歩道の段差解消などを10箇所実施した。					
次年度課題	継続して整備、解消に努める。					
計画					交通バリアフリー道路特定事業計画の進捗状況の評価、見直し	
取組実績						
成果						
次年度課題						

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	新在家鳥飼上線の歩道実施設計用地確定の測量	新在家鳥飼上線の歩道を設置するための不動産鑑定評価等の実施	新在家鳥飼上線の歩道を設置するための用地取得	新在家鳥飼上線の歩道を設置するための用地取得	新在家鳥飼上線の歩道設置の工事実施	
取組実績	新在家鳥飼上線道路整備事業において、歩道新設整備に伴う道路詳細設計業務や道路拡幅事業に伴う用地確定測量業務の委託を実施した。					
成果	次年度の不動産鑑定評価などの取組みに向けた準備が完了した。					
次年度課題	新在家鳥飼上線道路整備事業に伴う道路拡幅事業用地内にある沿道土地所有者など関係権利者等の協力が得られるよう事業推進を図ること、並びに、道路管理者、交通管理者、地下埋設物管理者など関係機関と協議、調整を図ることが必要である。					
計画		千里丘東51号線の一部区間整備工事				
取組実績						
成果						
次年度課題						
計画	阪急正雀駅前の歩道整備を実施するための用地取得	阪急正雀駅南口エレベーター前歩道の一部暫定整備	阪急正雀駅前の歩道整備を実施するための用地取得	阪急正雀駅前の歩道整備を実施するための用地取得	阪急正雀駅前の歩道整備を実施するための用地取得	正雀南千里丘線外2路線の歩道整備完了
取組実績	歩道整備を実施するため、用地取得対象所有者と用地交渉に努めた。					
成果	用地所有者と交渉を行った結果、歩道整備用地を1件取得した。					
次年度課題	引き続き目標達成のための用地取得等を継続する。					
計画	L型側溝の整備工事実施	L型側溝の整備工事実施	L型側溝の整備工事実施	L型側溝の整備工事実施	L型側溝の整備工事実施	L型側溝の整備工事実施
取組実績	道路排水機能を確保するための側溝整備にあたっては、通行幅員をより広く確保できるL型側溝を原則的に設置しており、平成23年度は、鳥飼西地区でL型側溝101.3mの整備を行った。					
成果	L型側溝を設置することにより、道路排水機能を確保するとともに、通行者の安全確保をすることができた。					
次年度課題	近年のゲリラ豪雨に対し、側溝及び雨水柵の構造について十分な検討が必要となっている。					
計画	転落防止柵の工事実施	転落防止柵の工事実施	転落防止柵の工事実施	転落防止柵の工事実施	転落防止柵の工事実施	転落防止柵の工事実施
取組実績	道路とその周辺の土地で段差のある場所で、通行者が転落の危険性のある所について転落防止柵を設置しており、平成23年度においては南千里丘地区の境川と隣接する歩道で落防止柵150.0mを設置した。					
成果	転落防止柵を設置することにより、より安心して道路を通行することができるようになった。					
次年度課題	自転車歩行者道路で舗装の老朽化が進んでおり、計画的に補修を行っていく必要が生じている。					

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	舗装補修工事の実施	舗装補修工事の実施	舗装補修工事の実施	舗装補修工事の実施	舗装補修工事の実施	舗装補修工事の実施
取組実績	市内の道路で、舗装が老朽化によりひび割れやわだち等が発生し、車両等の通行に支障をきたしている箇所においては、舗装打替え等の補修工事を行っており、平成23年度は、市内一円で延長約2.5kmの舗装の補修を行った。					
成果	舗装の補修により、車両等が安全かつ円滑に通行できるようになった。					
次年度課題	舗装の老朽化によりひび割れやわだちが増加しており、補修の必要な箇所が増えている。また、街路灯の支柱及び灯具についても老朽化が進んでおり、LED化も視野に入れて計画的に補修を行う必要が生じている。					
計画		街路灯補修工事の実施	街路灯補修工事の実施	街路灯補修工事の実施	街路灯補修工事の実施	街路灯補修工事の実施
取組実績						
成果						
次年度課題						
計画		自転車歩行者道路補修工事の計画策定	自転車歩行者道路補修工事の実施	自転車歩行者道路補修工事の実施	自転車歩行者道路補修工事の実施	自転車歩行者道路補修工事の実施
取組実績						
成果						
次年度課題						

○橋りょうの改築	平成25年度事業費計 10,000千円
----------	------------------------

老朽化が著しい橋りょうについて耐性・強度を高めるため、長寿命化に向けた改築を行います。

平成25年度事業 橋梁長寿命化修繕事業10,000千円(道路管理課)

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	橋りょう長寿命化策定計画に向けての橋梁選定作業及び検討	橋りょう長寿命化修繕計画の策定	策定計画の検証及び橋りょう修繕設計の実施	計画に合わせたの橋りょう修繕工事の実施	計画に合わせたの橋りょう修繕工事の実施	計画に合わせたの橋りょう修繕工事の実施
取組実績	平成26年度以降に国庫補助を受けて橋りょう長寿命化の工事を行うため、平成24年度末の長寿命化修繕計画の策定を目指し、防災計画上の緊急交通路及び避難路等の路線を中心に補助対象となる橋梁の検討を行った。					
成果	平成24年度の橋りょう長寿命化修繕計画の策定に向けて、対象となる橋りょうの抽出、資料の整理を行うことができた。					
次年度課題	橋りょう長寿命化修繕計画も国費補助対象となるため、速やかな申請手続き等の作業に努めていく必要がある。					

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	歩道橋の維持修繕 (柳田歩道橋維持修繕)			橋梁保守点検		
取組実績	大正川に架かる柳田歩道橋については老朽化が著しく、高欄の錆びや橋面舗装の剥れ、橋梁ジョイント部開きが見られ、補修工事によりこれらを解消した。					
成果	高欄塗装、橋面舗装およびジョイント部の補修を行うことにより、転落や転倒等の危険性から歩行者を守り、安全に通行できるようになった。					
次年度課題	—					

【摂津市の特色や魅力のある取組みとして進めていくこと】

市域の特徴を生かした道路整備						平成25年度事業費計
						219,000千円
平地でコンパクトな市域の特徴を生かして、徒歩や自転車での移動がしやすい道路ネットワークの整備を進めます。また、河川・水路が多いことから、橋りょうの安全性を高めます。						
平成25年度事業	千里丘三島線道路改良事業213,000千円(道路交通課) 橋梁長寿命化修繕事業6,000千円(道路管理課)					
	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	千里丘三島線道路改良事業の実施	千里丘三島線道路改良事業等により道路ネットワークの整備促進を図り、通行の安全性と利便性を向上	千里丘三島線道路改良事業等により道路ネットワークの整備促進を図り、通行の安全性と利便性を向上	千里丘三島線道路改良事業等により道路ネットワークの整備促進を図り、通行の安全性と利便性を向上	通行の安全性と利便性について、評価、検証	千里丘駅南交差点から千里丘東2丁目交差点までの両側歩道の整備完了
取組実績	歩道整備を実施するため、計画図面などの修正業務を行った。					
成果	修正業務を行った結果、現状に則した内容に修正できた。					
次年度課題	継続して整備の推進に努める。					
計画	歩道橋の維持修繕(柳田歩道橋維持修繕)	橋りょう長寿命化修繕計画の策定	策定計画の検証及び橋りょう修繕設計の実施	計画に合わせたの橋りょう修繕工事の実施	計画に合わせたの橋りょう修繕工事の実施	計画に合わせたの橋りょう修繕工事の実施
取組実績	大正川に架かる柳田歩道橋については老朽化が著しく、高欄の錆びや橋面舗装の剥れ、橋梁ジョイント部開きが見られ、補修工事によりこれらを解消した。					
成果	高欄塗装、橋面舗装およびジョイント部の補修を行うことにより、転落や転倒等の危険性から歩行者を守り、安全に通行できるようになった。					
次年度課題	—					